

■第三中学校 3年 英語 You can do it! 「学校に必要なものを考えて意見を伝えよう」

授業のねらい

- ①学校に必要なだと思うものと、その理由を伝え合う。
- ②教科書の題材である、「標準服の必要性」に対して、賛成・反対の立場を選び、自分自身の意見を発表する。

タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

- ①ムーブノートを使用し、学校に必要なだと思うものを記入し提出させる。
- ②全員の意見を共有し、共有できるものには「拍手」をつける。
- ③教科書の内容(前時に内容を既習済)を復習し、ムーブノートで意見に対して賛成、反対とその理由を書いて提出させる。
- ④「Agree」と「Disagree」の結果を確認しグループに分けて、集計機能を使い、どのような単語が多く使われているかを確認する。
- ⑤グループで設定した内容について、意見を発表し合う。
- ⑥自分の意見が変わったか確認する。



The image shows two identical screenshots of a digital poll interface. The poll text is: "Tamara thinks we need school uniforms. Do you agree or disagree with her opinion?". Below the text are two radio buttons labeled "Agree" and "Disagree". Underneath the radio buttons is a section titled "Reasons" with a text box labeled "Why do you think so?".

生徒の様子

- Agree、Disagree それぞれ同じ意見のグループ内でも使われているキーワードになる単語が全然違うことに驚いていた。

成果

- 意見を共有することで、意見の幅も広がった。
- グループ毎にキーワード集計を共有することで、意見の発表や発表に対する話し合いが活発になった。
- 理由、意見の言い方や表現を共有することで、英語が苦手な生徒もそれを参考にして意見を発表することができた。

課題

- 意見をその場で入力させて意見を共有するので、スペルミスや文法のミスがそのまま映し出されてしまうことがある。生徒自身が生成AIを使って、作成した英文にミスが無いかな簡単に確認できるように指導していく必要性を感じた。